

日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト 伝統的バグ医師クラス 講習会

団 長：本間 琢英（団長）
金井 英樹（国際部）
横田 良介（宮城県柔道整復師会）
酒井 重数（富山県柔道整復師会）

指導者候補：エンフタイワン・トゥブシンバイヤル、
バトムンク・アルタンエルデネ、
ダシュラウダン・ボロルトゥーヤ
オユンバートル・ダリルチュルン
ムンフバートル・ボロルチメグ

今回のプロジェクトの最終週である伝統的バグ医師クラス（35名）の講義が始まった。昨年10月にも講義を受けている学生たちで我々が教室に入ると笑顔で出迎えてくれた。開講式にはムンフトルガ副学長、オユンツェツェグ教育部長にお越しいただきご挨拶を頂いた。

午前中は前回の復習を行い、学生の理解度を図ったが質問に対し即座に答える姿を見て驚くとともにうれしさがこみ上げた。実技を交え講義を行い、技術的に不足している部分を担当講師により補った。

また新たな試みとして、指導者候補生に以前から幾度となく行っている橈骨遠位端骨折の講義を担当させ、モンゴル語のみで講義を行わせた。理論の説明など滞ることなく講義を進め指導者としての成長度合いが伺えた。学生は今回も意欲的で講義が終わっても指導者にわからないことを質問する姿が見られ、モチベーションが上がる幸先の良いスタートとなった。

日 程

3月3日：講義第1日目 通訳：トゥブシン、アルタイ、ダリア、Dボルロー、Mボルロー

(1) 開講式挨拶 - AM9:00～9:15

①モンゴル国立健康科学大学付属看護学校 ムンフトルガ副学長、オユンツェツェグ教育部長

②日本柔道整復師会 国際部 本間 拓英

(2) 講義—AM9:15～11:30 前回の復習：鎖骨骨折（酒井）、

肩関節脱臼、上腕骨外科頸骨折（横田）

橈骨遠位端骨折（ボルロトゥーヤ、ダリア、ボルロチメグ）

PM0:15～2:50：肋骨骨折理論・実技（横田）

(3) 臨床実習—PM3:30～5:10：橈骨遠位端骨折経過観察、膝疾患の診察の手順（指導者候補生）



開講式（ムンフトルガ副学長、オユンツェツェグ教育部長）



伝統的バグ医師クラス



指導者候補生による講義



指導者候補生による実技

3月4日：講義第2日目

通訳：トゥブシン、アルタイ、ダリア、D ボルロー、M ボルロー

- (1) 講義—AM8:00～11:30 肘関節脱臼理論（金井）、金属副子作成（指導員候補生）
PM0:00～2:30 肘関節脱臼実技（金井）上腕骨顆上骨折理論（金井）
- (2) 臨床実習—PM3:00～4:10 膝関節疾患に対する診察、治療について



指導者候補生による実技指導



健康開発センター、マネージャー視察



金属副子作成

健康開発センターのマネージャーが視察に訪れた。彼女は我々の講義を参考に地方の医師に技術、手法を伝える目的で3日間参加予定とのことであった。

肘関節脱臼の講義では、質問や発言も多く積極的に取り組む姿勢が見られた。包帯実習でも丁寧に巻くことに気を使っているようで、仕上がりは我々が見てもとても満足いく出来で我々としてもうれしかった。

臨床実習では、先週膝の治療を行った当校の先生がご主人（医師）をつれて再度訪れ、指導者候補生のために臨床実習に協力していただいた。前回の治療で症状が軽くなっているとのことであり、ホームエクササイズなどの指導も併せて行った。

3月5日：講義第3日目

通訳：トゥブシン、ダリア、M ボルロー

- (1) 講義—AM8:00～11:30 下腿骨骨折理論（酒井）
PM0:00～3:00 下腿骨骨折実技（金井）
- (2) 臨床実習—PM3:00～4:10 足関節疾患に対する診察、治療について



下腿骨骨折理論



指導者候補生による実技指導



下腿骨骨折実技指導

3月6日：講義4日目

通訳：トゥブシン、ダリア、M ボルロー、D ボルロー

- (1) 講義—AM8:00～11:30 足関節の包帯実習（金井）、足関節捻挫について（金井）
PM0:15～2:50 足関節脱臼骨折理論、実技
- (2) 臨床実習—PM2:50～4:30 足関節脱臼骨折の実際、アキレス腱炎、膝関節症の実際
肩関節周囲炎
- (3) 私立モンテアルティウス体育大学訪問—PM5:00～6:30
 - ・モンゴル国への柔道整復普及事業について
 - ・バレーボール選手に対する腰痛の予防について
 - ・質疑応答



指導者候補生による足関節の検査法



下腿骨骨折固定実技



指導者候補生の臨床実習

先般、市民公開講座に参加していただいた私立モンテアルティウス体育学校の先生から、放課後講義をお願いしたいと午前中に電話があった。講義依頼内容はスポーツ選手に対する応急処置についてであった。市民公開講座でも当プロジェクトの趣旨説明があったため、先方にも理解されていたのだが、再度学生に照会して欲しいとの要望があった。学生からの質疑応答では、脱臼などの突発的な重症例に対して整復法を教えるなどとの要望があったが、モンゴル国での医療制度で問題が起きるとして、ケガやスポーツ傷害に対する予防トレーニングを指導した。質疑応答では様々な意見が交わされ、次回渡航時には再度講演依頼をお願いしたいとの要望に対し、快諾した。



私立モンテアルティウス体育大学



体育大学の生徒たちと



体育学生の生徒たちと

3月7日：筆記試験、実技試験

通訳：トゥブシン、ダリア、M ボルロー、D ボルロー、アルタイ

- 1) 試験実施上の説明 AM8:00～8:15
- 筆記試験 AM8:15～8:35
- 実技試験 AM8:50～12:00
- 解答解説、総評 PM0:00～0:30
- (2) 閉講式 PM0:30～1:10



筆記試験



実技試験



成績優秀者と講師

前回の講義で非常に熱心に勉強する伝統的バグ医師クラスであったが、今回の講義も真剣に取り組む姿勢が見られた。驚いたのは包帯技術が上手であり、即実践できる技術を持っている学生が多かった。本日の筆記試験、実技試験に備え昨日夜遅くまで学校で勉強していた生徒がいたと聞いているが、想像通り筆記試験、実技試験ともに最高得点を取っていた。伝統的バグ医師は伝統病院などで働くと聞いているが急性外傷も少なくなく、本講習が彼らの将来に役立つものであることを願いたい。講義に対する真剣な姿勢と閉講式での彼らの笑顔、「ありがとうございました」の言葉に胸が詰まる思いだった。

活動報告会

3月7日（土） PM7:00～9:30 ラマダホテル4F クリスタルルーム

参加者：26名、
通訳：テギシ氏

今年2月国立医科大学との協定を結んだあと初めての活動報告は、ラマダホテル4Fのクリスタルルームで行われた。翌日が女性の日ということもあり、UB市内は大渋滞となっていたため開会が少々遅れた。酒井会員の司会のもと、工藤鉄男会長の挨拶文を本間PMが代読し、報告会がスタートした。

国立医科大学学長バタバータル氏からは、協定書に書かれている内容を双方で確認しながら今後の事業を協力して進めていこうと挨拶をいただいた。オトンガー学長からは受講後学生にアンケート調査した結果、非常に評価が高かったとし、今後普及のためには臨床施設などの拠点をしっかり作り教育していく必要があると話した。ハグワスレン前学長は、今までの我々の活動と柔道整復術の高度な技術をたたえるとともにモンゴル医療においての必要な技術であると訴えた。工藤会長の挨拶文の中に自らの名前を挙げていただいたことに感激し、ともに育んできたこのプロジェクトに対し今後も協力を惜しまないとのお言葉をいただいた。

バザール・アマルサイハン副学長の乾杯の挨拶のあと派遣員による報告が行われた。横田会員からはトブ県で行われた講習会に再受講したバグ医師の中で、柔道整復術を用いて応急処置を行った4症例について報告した。また金井国際部員は、大学での講義を通して受講者の熱意について触れ、その講義をサポートしている指導者候補生たちの成長が見られていることを報告した。加えて毎回行う臨床実習では大学関係者の協力もあり、痛みのある方々を紹介していただいたおかげで、指導者候補生にとり想像以上の成果があったと報告した。

市民公開講座に来賓としてお越しいただいた JICA 事務所の加藤所長と保健省開発局のエンヒゾル様にもお言葉を頂いた。加藤所長は1年前の就任時、自身が落馬などで怪我をしたらどうしようという不安があったと語られ、この報告会を通し今後怪我をした際には指導者候補生を頼りに連絡をさせていただくという言葉頂き、報告会に参加していた指導者候補生たちの顔から笑みが漏れた。今後も人材育成というコアの部分をしっかりさせ、モンゴル全土にわたってこの技術を普及してもらいたいと暖かい言葉を頂いた。またエンヒゾル様からは、モンゴルの現状を説明し、遠隔地への医療サービスの乏しさについて触れられ、救急医療を充実させるために外科医、看護師を大幅に増員する政策を進めているとのことであった。モンゴル国内での医療連携を考慮すると本事業は重要な役割を果たす技術だということでも今後協力体制をとっていくとのことであった。

会の後半、本間PMから今回教科書が出版される運びとなることを報告し、担当者のアマルサイハン、マスターコース部長が教科書の下刷りを持参し、大学関係者に紹介した。

今回は休日もなく慌ただしい中での活動報告会であったが、大学関係者や派遣員総動員で協力し、無事閉会することができた。



工藤会長挨拶文代読



バタバータル学長



ハグワスレン前学長



加藤所長、オトンガー看護大学学長



保健省開発局 エンヒゾル様



アマルサイハン、マスターコース部長